

軟腐病 Bacterial soft rot (*Erwinia carotovora* subsp. *carotovora*)

【見分け方】

主に収穫期に近づいた株に発生する。株元に水浸病斑を生じ、外葉から次々と軟化腐敗する。腐敗部は軟腐病特有の悪臭を発する。

【発生生態】

病原細菌は、きわめて多犯性で多くの作物の根圏で生存する。腐生生活を営むので長期間土壌中で生存する。連作畑では細菌の密度が高く保持されるので多発する傾向がある。

一次伝染源は土壌中の細菌で、そこに感受性の作物が作付けされると、細菌は根圏で増殖し傷口や自然開口部から侵入して感染が起こる。二次伝染は発病株から細菌が溢出し、隣接株へ伝染する。夏期の高温時に、土寄せによる断根や過剰な灌水（スプリンクラー等）が被害を助長する。